

正誤表（現況分析（教育））

（20：国立大学法人埼玉大学）

| No. | 現況分析単位 (学部・研究科等) | 頁数 | 誤 | 正 | 修正事由 |
|-----|---------------------|-------|--|---|--|
| 01 | 02_経済学部 | P2-2 | 特別プログラムとして、長期留学を要件とするグローバル・タレント・プログラム（以下、GTP）を | 特別プログラムとして、長期留学を要件とするグローバル・タレント・プログラムを | 以下で出てこないため、（以下、GTP）を削除。（2. グローバル化教育 3 行目） |
| 02 | 03_人文社会科学研究科 | P3-2 | 人文社会科学研究科は人文学と社会科学の研究を基盤として、「時代を超えた大学の機能である地を継承・発展させ、新しい価値を創造する」 | 人文社会科学研究科は人文学と社会科学の研究を基盤として、「時代を超えた大学の機能である 地 を継承・発展させ、新しい価値を創造する」 | 誤字のため（教育目的 2 行目） |
| 03 | 03_人文社会科学研究科 | P3-2 | 国際日本アジア専攻は、日本研究とアジア研究における文化面ビジネス の 面の教育研究を二つの柱とし、 | 国際日本アジア専攻は、日本研究とアジア研究における文化面ビジネス面の教育研究を二つの柱とし、 | 表現に誤りがあったため の を削除（博士前期課程 4 行目） |
| 04 | 03_人文社会科学研究科 | P3-11 | 令和元年度までに前期課程修了者 24 人の実績をあげてきたことから | 令和元年度までに前期課程修了者 24 名 の実績をあげてきことから | 他の文と表現が異なるため（○社会人を中心とした幅広い修了生の安定した輩出 9 行目） |
| 05 | 04_教育学部 | P4-2 | これらの改革は、「応用研究、課題解決型の研究に取り組むことにより、現代が抱える諸課題の解決を図るとともに、社会の期待に応える大学を構築する」 | これらの改革は、「応用研究、課題解決型の研究に取り組むことにより、現代が抱える諸課題の解決を図るとともに、社会の期待に応える大学を構築する」 | 文頭にスペースを追加（特徴下から 4 行目） |

正誤表（現況分析（教育））

| | | | | | |
|----|-----------|-------|--|--|---|
| 06 | 04_教育学部 | P4_11 | (別添資料 2004-ii2-2) | (別添資料 2004-ii <u>1</u> -2) | 資料番号に誤りがあったため (○学生による研究等の成果 6 行目) |
| 07 | 04_教育学部 | P4_11 | (別添資料 2004-ii2-3) | (別添資料 2004-ii <u>1</u> -3) | 資料番号に誤りがあったため (○学生による研究等の成果 9 行目) |
| 08 | 05_教育学研究科 | P5-11 | さいたま市教委・埼玉県教委・埼玉大学が共同で実施する | さいたま市教 <u>査</u> 委 <u>員</u> 会・埼玉県教 <u>査</u> 委 <u>員</u> 会・埼玉大学が共同で実施する | 略称になっていたため (○教員としての能力を支える専門性の社会への還元 10 行目) |
| 09 | 06_教職実践専攻 | P6-3 | (別添資料 2006-i3-5 の <u>pp</u> .2) | (別添資料 2006-i3-5 の p.2) | 誤字のため p を一つ削除 (○教育実践専攻の認証評価 3 行目) |
| 10 | 06_教職実践専攻 | P6-5 | 教員養成評価機構による平成 30 年度の認証評価においては、次の評価を得た。 | 教員養成評価機構による平成 30 年度の認証評価においては、次の評価を得た。 | 文頭にスペースを追加 (○学生相談・助言体制、キャリア支援等の評価 1 行目) |
| 11 | 06_教職実践専攻 | P6-6 | (別添資料 2006-i3-5<再掲> <u>pp</u> .3-4) | (別添資料 2006-i3-5<再掲>p.3-4) | 誤字のため p を一つ削除 (○複数委員や成績確認体制による厳格な成績評価 11 行目) |
| 12 | 07_理学部 | P7-3 | 令和元年 4 月現在 | <u>平成 31</u> 年 4 月現在 | 年度標記の誤りがあったため (下から 2 行目) |
| 13 | 07_理学部 | P7-3 | ○ハイグレード理数教育プログラム [HISEP] | ○ハイグレード理数教育プログラム [H <u>i</u> SEP] | 誤字のため |
| 14 | 07_理学部 | P7-7 | 令和 3 年度から実施の | 令和 3 年度 <u>入試</u> から実施の | 表現に誤りがあったため (下から 5 行目) |

正誤表（現況分析（教育））

| | | | | | |
|----|-----------|-------|---|---|---------------------|
| 15 | 07_理学部 | P7-8 | ○ハイグレード理数教育プログラム [HISEP] における短期海外研修および英語プレゼンテーション | ○ハイグレード理数教育プログラム [HiSEP] における短期海外研修および英語プレゼンテーション | 誤字のため |
| 16 | 08_工学部 | P8-6 | ○学外見学、講師招へい、出前講義によるキャリア形成教育 | ○学外見学、講師招 へ 、出前講義によるキャリア形成教育 | 他と表現が異なっていたため |
| 17 | 08_工学部 | P8-15 | 「国際的な視野や完成」を挙げるものが多い。 | 「国際的な視野や完成」を挙げるものが多い。 | 誤字のため (下から3行目) |
| 18 | 09_理工学研究科 | P9-6 | (別添資料 2009-i7-1~3) | (別添資料 2009-i7-1~3) | 半角になっていたため |
| 19 | 01_教養学部 | P1-8 | 特にダブルディグリープログラムでは、第一号の卒業生が出ているほか、 | 特にダブルディグリープログラムでは、第一号の卒業生が出ているほか、 | 表現に誤りがあったため、 削除。 |